

# さくらピアで避難訓練

## 豊橋 障害者、ボランティアら参加

防災について考える集会「ない集い」が十一日、豊橋「さくらピア」3・11を忘れ 市東新町の市障害者福祉会



消火訓練をする参加者たち＝豊橋市のさくらピアで

**東日本  
大震災  
12年**

館(さくらピア)で開かれた。施設を利用する障害者やボランティア約八十人が参加した。

さくらピアが主催し、さくらピアを運営する豊橋障害者(児)団体連合協議会の山下徹会長が「障害者の避難と車中泊」をテーマに講演した。「車内は暖かいと思われがちだが、窓が多くて寒い」と説明し、「障害者の家族がいて『他の人に迷惑かかるから』と、避難所ではなく車中泊を選ぶことがあるかもしれないが、大変なのでなるべく避難所の個室などを利用してほしい」と呼びかけた。

その後、初期消火や非常階段を利用した避難訓練などがあった。参加者は手話ボランティアらの指示で屋外へと避難した。さくらピアの本田栄子事務長は「これをきっかけに、自宅近くの避難所の場所や避難所への行き方を調べ、もしもの

時に役立ててほしい」と話した。(斎藤徹)

令和5年3月12日(日)

中日新聞